

系統 変性エポキシ樹脂



塗装条件

| | |
|------------------------------|-------------------------------|
| 塗装方法 | はけ、ローラー、エアレス |
| 希釈率 | 塗料用シンナー (0~12%) |
| 標準塗布量 (kg/m ² /回) | 0.13~0.30kg/m ² /回 |

注)上記の数値は塗装作業に必要な使用量の標準数値です。
標準塗布量は、個々の条件によって異なります。

塗装間隔

| | | |
|----|--------|-------------------|
| 項目 | 温度 | 23℃ |
| | 標準塗布間隔 | 最短 16時間 最長 7日間 |

塗料性状

| 項目 | 内容 |
|------------------------|--|
| 1 荷 姿 | 16kg |
| 2 混 合 比 | 1液 (塗料用シンナー 0~10%可) |
| 3 色 | 白色 |
| 4 つ や | — |
| 5 臭 い | 溶剤臭 |
| 6 仕 上 が り 感 | 平滑 |
| 7 比 重 / 密 度 | 1.45 (g/cm ³ /23℃) |
| 8 溶 剤 比 重 | — |
| 9 加 熱 残 分 | 67-72 (%) |
| 10 粘 度 | 1400 ± 800 (mPa·s/23℃) |
| 11 劇 物 表 示 | — |
| 12 労 安 法 上 の 表 示 有 害 物 | エチルベンゼン、キシレン、メチルイソブチルケトン、1,2,4-トリメチルベンゼン、クメン、1,3,5-トリメチルベンゼン、二酸化チタン、酸化亜鉛 |
| 13 使用有機溶剤別 | 第三種 |
| 14 消防法による危険物区分 | 第4類 引火性液体第2石油類 危険等級 II (指定数量 200L) |
| 15 硬化剤の成分による区分 | — |

注)上記の数値は標準を示すもので、若干の変動があります。

特徴

- ①防錆・防食に優れた効果を発揮する1液弱溶剤形変性エポキシ樹脂さび止め塗料です。
- ②付着力に優れ、一般鉄部の塗り替えの場合に適しています。
- ③使いやすい1液タイプで、刷毛塗り、エアレス塗装時の作業性に優れています。
- ④鉛・クロムなど有害な防せい顔料を含みません。

主な適用素材

鉄部、鋼板、アルミニウム、ステンレスに対する水性塗料、弱溶剤塗料の防錆用下塗り

適用旧塗膜

各種旧塗膜(ただし、旧塗膜の劣化が著しい場合は、2液エポキシ系のさび止めを使用してください。)

注)既存塗膜が2液溶剤系ふっ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料他付着の悪い塗膜の場合は施工できません。

付着確認してから、施工してください。

注)既存塗膜が4液溶剤系ふっ素樹脂塗料、シリコン樹脂塗料の場合は施工できません。

使用上の注意事項

- 1) 低温時(5℃以下)、多湿時(85%以上)での塗布は避けて下さい。(上塗りの艶引け等が発生する要因となる。)
- 2) 各標準施工仕様に準じて所要量及び間隔時間を厳守して下さい。
- 3) 塗装中及び塗装後6時間以内に降雨、積雪、結露、強風等が予想される場合は、施工を避けて下さい。
- 4) 材料は直射日光下を避け、40℃以下の冷暗所で保管し、屋外または換気の良いところでのみ使用して下さい。
- 5) 作業を行う場合には、適切な保護マスク、保護手袋、保護眼鏡、保護衣を着用下さい。
- 6) 材料を取り扱う場合は、特に火気に注意し、消防法及び労働安全衛生法を厳守して下さい。
- 7) 下塗材開缶後は、空気中の水分と反応しますので速やかに使用して下さい。一度開封した材料は、再度栓を閉めてもゲル化する場合があります。
- 8) その他塗料の取扱いについての一般的な注意事項の詳細についてはSDS(安全データシート)を参照してください。

※本製品説明書の内容には、予告なく変更することがありますので、予めご了承ください。